

下呂温泉合掌村使途不明金調査特別委員会

昨年発覚した下呂温泉合掌村使途不明金事件に際し、議会は、「下呂温泉合掌村使途不明金調査特別委員会」を立ち上げ、使途不明金の全容解明、再発防止対策に係る協議を続けてきました。

その間、合掌村事件に係る議会へのご意見やご提案も多く寄せられ、それらを当委員会で協議いたしました。今回、その結果やご意見、ご提案に対する回答を報告します。

※上段：「お寄せいただいたご意見等」、下段：「ご意見等に係る議会委員会としての対応」

【責任の所在と処分について】

- 個人の問題でなく、人事体制や内部統制にも問題があり、組織としての責任がある。厳重な処分と氏名の公表を望む。

刑事告発により警察機関による捜査の結果、個人の犯罪であると確定しました。しかし、会計システム自体の問題等、組織としての責任も明らかになりました。また、市条例の規定に基づき、管理監督者である職員には厳重な処分はされました。氏名の公表については、規程により懲戒免職以外は公表されません。委員会としては、徹底的な解明と効率的な施設運営、業務に即した適正な人員配置などがされるよう市担当部局にお伝えしました。

【監査方法について】

- 監査をしているにも関わらず、多年にわたり見抜くことができなかった事が問題である。

監査に提出された資料は、適正に処理されていたことを確認しましたが、慣例的な確認方法であったことは否定できません。委員会として、会計システム自体の問題、チェック機能の厳格化などを指摘しました。

【損害額補填について】

- 市の監査体制や人事異動の不備が要因であり、市民には何の落ち度もない。一般財源等、税金により損害額を補填することがないよう厳しい対応をされたい。併せて、不正期間中の市関係者への損害賠償を請求すべき。

市からは、税金により損害額を補填しないことを確認しています。なお、この事件で、執行機関を監視する議会議員としての姿勢を示すため、現市長と同様に、報酬を令和3年1月より3カ月減額しています。（市長は給与を令和2年9月から3カ月減額）

【説明責任について】

- 市民への説明がホームページのみで、広報紙における経緯の報告等全くされておらず、市民にしっかり説明してほしい。

「議会だより」で、当委員会での調査経過を報告しますが、「広報げろ」でも、市民に分かりやすい詳細な説明を掲載するよう市担当部局にお伝えしました。